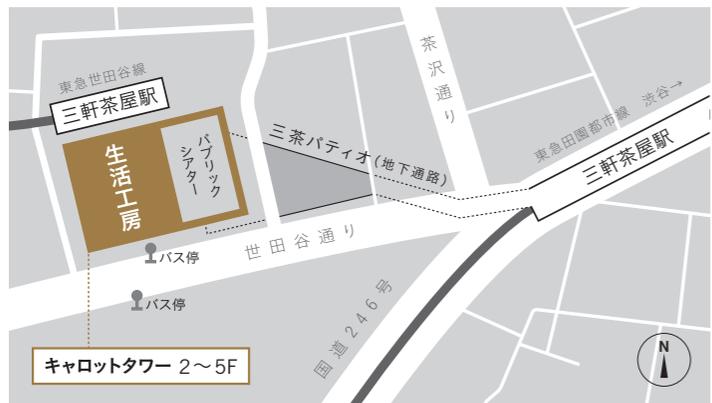


施設案内

5F	セミナールーム A・B 生活工房受付	音響・映像設備を備え、講習会や会議を行うことができます(定員48名)。A・Bの仕切りを外せば最大120名収容(机使用時は108名)。
4F	ワークショップルーム A・B	「A」はキッチンや調理器具などを備えた“ものづくり”スペース。「B」は可動パネルにより多様な展示に対応したスペース。
	生活工房ギャラリー	生活や文化に関する様々なデザインを独自の視点で提案・発信する展示スペース。新たな発見が暮らしを彩ります。
3F	市民活動支援コーナー	世田谷で活動する市民活動団体のため、打合せや作業スペース、プリンタや印刷機などを備えています。
2F	ギャラリーカフェくりっく	カフェの壁面を使用した展示スペース。写真、イラスト、絵画、押し花など区民のアート作品を4週間ごとに展示します。

※施設のご利用について 詳しくは生活工房ホームページをご覧ください。

アクセス



東急世田谷線「三軒茶屋」駅直結
東急・小田急バス「三軒茶屋」停留所そば
東急田園都市線「三軒茶屋」駅 三茶パティオ口 徒歩5分

お問い合わせ

(公財) せたがや文化財団 世田谷文化生活情報センター 生活工房
〒154-0004 世田谷区太子堂4-1-1 キャロットタワー
TEL 03-5432-1543 / FAX 03-5432-1559

website <http://www.setagaya-ldc.net/>
twitter @setagaya_ldc

リニューアルしました!



表紙はなんだろう?
今回は草木染めに使用するさまざまな植物です。
(右上から時計回りに、紅花、矢車玉、刈安、丁字、西洋茜、ミロバラ、槐、檳榔子)
表紙では私たちの生活に関わる、デザインを生み出すための様々なものを紹介します。次回もお楽しみに。



PICK UP

「地球」に生きる、「未来」をつくる

今年度の生活工房は、「地球」を大切なキーワードとして、いくつかの視点で取り上げてきました。世界の暮らしと手しごとを紹介する『7つの海と手しごと』ではトルコのレース編み“イーネオヤ”を、文化人類学者・西江雅之氏の写真展ではアフリカからパプアニューギニアまでを横断し、夏休みに登場したデジタル地球儀『触れる地球』では、生きた地球を手取るように観測しました。また、今年で9回目を迎えた『JAPONDER』では、世界各地からの留学生がその研究成果を報告しました。

そして、1月から実施する『DAYS JAPAN 写真展 地球の上生きる～世界の未来をつくるために』は、カメラが目撃した世界の本当の姿が伝わってきます。人類は、環境破壊、民族紛争、水不足、食糧危機、資源枯渇、ごみ問題、犯罪増加など、深刻な問題を抱えています。生まれた国や言語、生活習慣が違っていても、私たちは同じ地球で暮らす1人として、日頃からそれぞれの環境で何ができるかを考えることが大切ではないでしょうか。

2011年の東日本大震災は、日本人の価値観や生活スタイルを再考させる大きな出来事でした。大自然による脅威を目の当たりにし、その現実に私たちは愕然としました。

3月に実施する『日常／非日常展』では、自然災害や緊急時に備えるデザインとそれを有効に活用する方法を、多くの人と共に日常から探ります。「もしもの時」の備えには、1人ひとりにとっての

精神的な支えや心の豊かさも求められています。デザインが使い手の心までをサポートすることはできるのでしょうか？

また、『日常／非日常展』では発展途上国などの厳しい環境で暮らす人々を、デザインの力で支援する米国NPO法人「コペルニク」の取り組みなども紹介します。当たり前のように水や電気を消費する私たちの生活とはかけ離れた状況で生きる人たちに、豊かな創造力で生み出されたプロダクトが活力を与えています。

1月から3月に実施する2つの展示を通して、私たちが未来に向けて選択すべき生活とは何かを一緒に考えてみませんか？

EXHIBITION

DAYS JAPAN 写真展 地球の上生きる 世界の未来をつくるために

1.20(日) → 2.3(日)
11:00～19:00 入場無料
会場：ワークショップルームB
生活工房ギャラリー



※関連プログラムは中面をご覧ください。

日常／非日常展 世界の明日につながるデザイン

3.15(金) → 4.1(月)
11:00～19:00 入場無料
会場：ワークショップルームA・B

左上：『リビア革命』Remi OCHLIK (DAYS JAPAN 写真展より)
上右：『d.light S10a』©Kopernik (日常／非日常展より)
下：『インドネシア硫黄鉱山の労働者』Athit PERAWONGMETHA (DAYS JAPAN 写真展より)

みる×しる×つくる＝暮らしがかわる。

2013 イベントガイド

1 January

2 February

3 March

世田谷文化生活情報センター
生活工房
Lifestyle Design Center

LIFESTYLE DESIGN CENTER
SINCE 1997
15th ANNIVERSARY
生活工房

アツギ展

山と里、庄内にまなぶ

開催中 → **1.14** (月・祝)
※12.29(土)～2013.1.3(木)は休館
9:00～20:00 **入場無料**
会場：生活工房ギャラリー

精進料理と在来作物を通して、日本の伝統の食文化について学び、これからの継承——アツギを考える展示。



写真 東海林晴哉



ドキュメンタリー上映会
「よみがえりのレシピ」

1.13(日) 13:00～/16:00～ ※2回上映 会場：セミナールーム

生産者が種を継ぎ、守ってきた在来作物は「生きた文化財」とも言われます。山形県を舞台に、在来作物を地域資源として活かし、食と農の豊かな関係を築く人々の姿に迫るドキュメンタリーを上映します。
参加費：1,000円/各回50名(当日先着) 申込：不要。当日会場にお越し下さい。

食のワークショップ
「記憶を味わう——在来野菜の漬物レシピ」
出羽三山・精進料理レシピ

1.14(月・祝) 13:00～17:00 会場：ワークショップルームA

庄内と世田谷の在来野菜でおいしい漬物をつくりながら、味の記憶、味のアツギについて探るワークショップ。
講師：中山晴奈(NPOフードデザイナーズネットワーク) 参加費：2,000円/20名(抽選)
申込：往復ハガキまたはメールにて。12.28(金)必着。

生命をつつむ未来繊維2

「いつもを運ぶ衣服」ワークショップ

2.9(土) 10:30～12:30
会場：セミナールーム

生命を守るために必要とされるデザインとは？ 災害など緊急時における精神的な支えや心の豊かさについて「衣服」の視点で考察します。

講師：眞田岳彦(衣服造形家)
参加費：一般1,000円 学生800円/50名(先着)
申込：メールまたは電話にて。



EXHIBITION

DAYS JAPAN 写真展 地球の上に生きる世界の未来をつくるために

1.20(日) → 2.3(日)
11:00～19:00 **入場無料**
会場：ワークショップルームB
生活工房ギャラリー

報道写真誌『DAYS JAPAN』が主催する「DAYS国際フォトジャーナリズム大賞2012」の受賞作による写真展。



写真 林典子

トークイベント「ジャーナリストの視点から」

1.27(日) 14:00～15:30 会場：セミナールーム
ジャーナリストとして世界の現状とどう向き合うか、その想いを伺います。
講師：広河隆一(フォト・ジャーナリスト、『DAYS JAPAN』編集長)
参加費：500円/60名(先着) 申込：メールまたは電話にて。

映画「バレンタイン一揆」上映会+トークイベント

1.22(土) 会場：ワークショップルームA
NPO法人ACE制作のドキュメンタリーを上映。ガーナで児童労働の問題と出会った普通の女の子3人が、日本に帰りフェアトレードを伝えようとするが……。
〈上映会〉12:30～/16:30～/18:00～ ※3回上映
参加費：一般800円、学生500円/60名(先着) 申込：不要。当日会場にお越し下さい。
〈トークイベント〉14:00～15:30
講師：吉村瞳(映画監督)、藤田琴子(出演者)、白木朋子(ACE事務局長)
参加費：一般(学生とも)：500円/60名(先着) 申込：メールまたは電話にて。

EXHIBITION

14歳のワンピース展

2.9(土) → 2.24(日)
9:00～20:00 **入場無料**
会場：生活工房ギャラリー

12月に開催したワークショップの報告展示。14歳の心と体を記録するワンピースづくりのプロセスをご紹介します。



写真 池田晶紀

EVENT

国際交流 in せたがや 2013

2.23(土) 13:00～16:00
会場：ワークショップルームA・B

在日外国人との文化交流会です。アトラクションやお茶・和服着付けなどを体験しながら互いの理解を深めます。各国大使館の展示ブースもあります。

共催：世田谷海外研修者の会 参加費：1,000円(飲み物・菓子込み)
申込・問合せ：津森(TEL/FAX 03-3324-1408)まで。締切2.10(日)。



SEMINAR

市民活動のためのファンドレイジングセミナー

共感を呼び、社会を変えていくファンドレイジングの基礎と実践をテーマに2日間にわけて開催します。

基礎・戦略編

2.19(火) 18:30～21:00 会場：セミナールーム

講師：徳永洋子(NPO法人日本ファンドレイジング協会事務局長)

共感・実践編

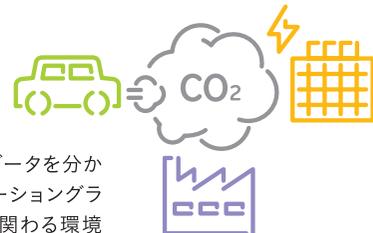
2.26(火) 18:30～21:00 会場：セミナールーム

講師：吉田理映子(広報プランナー/NPO法人ハンズオン!埼玉 副代表理事)
対象：NPOのスタッフの方 参加費：各日1,000円/60名先着 ※同団体から複数名参加の場合、2人目から半額 申込：メールまたは電話にて。

EXHIBITION

地球のいまを知る インフォメーショングラフィックス展 [環境編]

3.1(金) → 3.31(日)
9:00～20:00 **入場無料**
会場：生活工房ギャラリー



デザイン：クルトウィジョンズ

図や表によって、情報や数値データを分かりやすく視覚化するインフォメーショングラフィックス。私たちの暮らしに関わる環境問題をテーマに、深刻化する“地球のいま”をデザインで伝えます。

EXHIBITION

日常／非日常展 世界の明日につながるデザイン

3.15(金) → 4.1(月)
11:00～19:00 **入場無料**
会場：ワークショップルームA・B

それぞれの場所に必要とされるデザインがあります。「地球に生きる一人」「世田谷で暮らす一人」という双方の視点から「もしもの時」に備えるデザインとそれを有効に活用していく方法を紹介します。展示内容および関連企画については随時ホームページに掲載していく予定です。



©Kopernik

SEMINAR

知の航海2012 ぐるぐるエネルギー Vol.5 たべもののポリテイクス

3.17(日) 14:00～17:00
会場：セミナールーム

人間の営みの中で何よりも大切なことは、生命を維持するために食べること。毎朝毎晩行うこの当たり前すぎる営みの中に、哲学や科学、政治をわかりやすく紐解く講座です。

講師：國分功一郎(哲学者、高崎経済大学経済学部准教授)
参加費：1,000円/80名(先着) 申込：メールまたは電話にて。



セミナー

朗読講座 **豊かなことばの世界**

ことばの持つ豊かさ、力、輝きを「朗読」を通して体感します。NHK日本語センターアナウンサーが講師となり、声の出し方、読み方などを丁寧に指導します。

1 水曜教室(午前・午後) シリーズ〈名作を読む〉

1.30(水) | 2.6(水) | 13(水) | 20(水)

午前各回10:30～12:30 午後各回13:30～15:30
講師：岩井正(NHK日本語センター)
朗読作品：川端康成・著「雪国」

2 木曜教室

1.31(木) | 2.7(木) | 14(木) | 21(木) 各回13:30～15:30

講師：金野正人(NHK日本語センター)
朗読作品：宮沢賢治・著「セロ弾きのゴーシュ」

3 金曜教室 シリーズ〈はじめての朗読〉～初心者向け講座～

2.1(金) | 8(金) | 15(金) | 22(金) 各回13:30～15:30

講師：寺田道雄(NHK日本語センター)
朗読作品：芥川龍之介・著「蜘蛛の糸」

会場：セミナールーム
問・申込：(財)NHK放送研修センター
受講料：一般20,000円、アーツカード18,000円/15名(先着)
TEL. 03-3415-7121(受付時間9:00～18:00) HP <http://www.nhk-cti.jp/>

ギャラリーカフェくりっく

開催中 → 1.5(土) 明日また遊ぼう——森久由紀

1.6(日) → 2.2(土) なんかん?——高野恭史/猫*給水塔写真展

2.3(日) → 3.2(土) PATTERN 墨×箔コラボレーション——本多里美

3.3(日) → 3.30(土) ※調整中

3.31(日) → 4.27(土) 花に魅せられて V——Trois

※12.29(土)～2013.1.3(木)は年末年始休業

ワークショップ/セミナーの申込方法

●電話 03-5432-1543
●往復ハガキ/メール [希望イベント名・希望日・住所・氏名・年齢(学生は学年も)・電話番号を明記の上、下記宛先まで]
ハガキ：154-0004 世田谷区太子堂4-1-1キャロットタワー 生活工房宛
メール：info@setagaya-ldc.net(件名に希望イベント名を明記)



EXHIBITION

関連イベント

WORKSHOP